

令和7年度 大学院医工農学総合教育部 博士課程学生募集要項

ヒューマンヘルスケア学専攻

本学大学院医工農学総合教育部修士課程を修了見込みの方へ

本募集要項ではなく、CNSに掲載の「進学者選考要項」による出願となります。
詳細については、医学域学務課教務グループ(大学院担当)へ照会してください。



不測の事態（災害等）により、本募集要項の内容とは異なる方法で選抜を実施する場合は、
本学ホームページ (https://www.yamanashi.ac.jp/examination_list) に最新の情報を掲載しますので、随時確認してください。

《アドミッションポリシー》

山梨大学大学院における理念・目的、教育目標及びアドミッションポリシー

＜理念・目的＞

現代社会が直面する課題の解決に応用でき、また、これら応用研究の基礎となる学術研究を、国際的視野を持って創造的に推進する優れた研究者並びに高度で専門的な知識と能力を有する職業人を養成する教育・研究を行います。

＜教育目標＞

山梨大学大学院では、「地域の中核、世界の人材」の標語の下、幅広い教養と汎用能力及び専門分野の知識と技能を身に付け豊かな人間性と専門性をもって国際的にも活躍できる人材を育成します。

このような人材の育成を実現するため、大学院課程における「学位授与の方針」、「教育課程編成・実施の方針」、「入学者受入れの方針」を定めます。

＜入学者受入れの方針（アドミッションポリシー）＞

山梨大学大学院では、以下のような能力や意欲を備えた人々を積極的に受け入れます。

- ・ 知的好奇心が旺盛で、自ら研究を行う意欲のある人
- ・ これまで以上に幅広い教養や汎用能力の習得に意欲があり、かつ高度な専門的知識や応用能力を修得したい人
- ・ 論理的な思考力や豊かな人間性を備え、地域や国際社会でリーダーとして活躍したい人
- ・ 職業経験に基づいた知識や技能を高度化、深化させたい人

大学院医工農学総合教育部博士課程アドミッションポリシー

＜育成目標＞

研究者もしくは高度な専門技術者として自立して研究活動を行うに必要な深い学識と高度な研究能力並びに高い倫理観を備えた優れた研究者もしくは高度な専門技術者の養成を目指しています。

＜求める能力・人物像＞

基礎的な研究及び独創的な研究を推進し、現在及び未来世代に貢献することに意欲を持った人を求めています。

ヒューマンヘルスケア学専攻

＜育成目標＞

人間を身体・心理・社会的側面から包括的に捉え、ライフステージにおける健康問題からの回復および健康生活の維持・促進を支援することを目的とするヒューマンヘルスケア学にふさわしい実践方法、研究方法、および教育活動の開発・構築に努め、看護学の発展に寄与する人材の養成を目指しています。

＜求める能力・人物像＞

看護・保健・福祉に関し、柔軟な思考で創造的な研究に取り組みたい人を求めています。

＜試験区分別の入学者選抜の基本方針＞

上記の＜求める能力・人物像＞で示す能力等を有する人を評価するため、以下の方法により選抜します。

一般選抜

成績証明書、筆記試験（英語、小論文）、口述試験等の結果を総合的に判断して選抜します。

社会人特別選抜

本選抜は、看護師・保健師・助産師のいずれかの免許を有し、出願時に3年以上の看護関連業務の実務経験を有する人を対象に実施しています。成績証明書、筆記試験（英語）、研究計画書、口述試験等の結果を総合的に判断して選抜します。

目 次

募集要項

1	募集人員	1
2	教育・研究領域	1
3	出願資格	1
4	受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談	1
5	出願手続	2
6	受験票	4
7	選抜方法	4
8	合格者の発表	4
9	入学手続	5
10	授業料	5
11	その他の経費	5
12	個人情報の取扱い	5
13	入学試験における感染症対応	5
14	出願書類の原本提出	5
15	安全保障輸出管理	6
16	その他	6

入学案内

1	目的	7
2	専攻の内容	7
3	構成	7
4	授業科目の概要及び担当教員	7
5	学位	7
6	履修及び研究方法	7
7	大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例	8
8	長期履修学生制度	8
9	入学料及び授業料の免除制度、入学料徴収猶予制度	8
10	奨学金制度	8
11	学生教育研究災害傷害保険	8

本学所定の様式

様式1 研究業績調書

様式2 研究計画書 (社会人特別選抜のみ提出)

様式3 受験承諾書

様式4 大学院入試出願資格審査提出書類チェックシート (出願資格審査の対象となる方のみ提出)

様式5 入学試験出願資格審査願 (出願資格審査の対象となる方のみ提出)

様式6 実務期間及び実務内容証明書 (出願資格審査の対象となる方のみ提出)

※様式は、出願期間前から本学ホームページ (<https://www.yamanashi.ac.jp/admission/45>) よりダウンロードできます。

【問い合わせ先】

出願手続に関すること	教学支援部入試課	〒400-8510 甲府市武田4-4-37 (甲府キャンパス) 電話：055-220-8046 E-mail：nyushi@yamanashi.ac.jp
選抜方法に関すること	医学域学務課 教務グループ	〒409-3898 中央市下河東1110 (医学部キャンパス) 電話：055-273-9627 E-mail：gakumu-daigakuin@yamanashi.ac.jp

窓口対応時間：平日 (月～金) 8時30分～12時・13時～17時15分

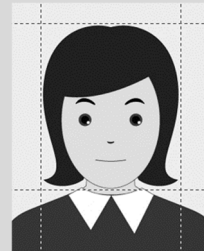
*土・日・祝日、夏季一斉休業(甲府キャンパスのみ8/14～16)及び年末年始(12/29～1/3)を除く。

Web 出願利用ガイド

出願期間内に Web 出願情報の登録、入学検定料の支払い、出願書類の提出 のすべてを完了してください。いずれか1つでも完了していない場合は、出願を受理することはできません。

① 事前準備（用意するもの）

- インターネットに接続されたパソコン、スマートフォン、タブレット等
- PDF ファイルを開くためのアプリケーション（アドビ社の Adobe Acrobat Reader を推奨）
- A4 サイズの印刷が可能なプリンター
自宅にプリンターがない場合は、学校や図書館などの公共施設のプリンターやコンビニエンスストアのプリントサービスを利用してください。
- 「@yamanashi.ac.jp」からの受信が可能なメールアドレス
- 出願書類
- 市販の角形2号封筒（24 cm×33.2 cm）



（良い顔写真の例）

- 証明写真（顔写真）データ

試験当日の本人確認で利用しますので、明暗以外は無加工の写真を準備してください。

なお、試験時間中に、眼鏡をかける方は眼鏡をかけて撮影した写真を準備してください。

- ・証明写真機（写真データのダウンロードができるもの。）やデジタルカメラ、スマートフォン、タブレットで撮影したもの。
- ・全体に対する顔の比率は、上下左右が上記の例の点線程度になっているもの。
- ・試験日前3ヶ月以内に単身で撮影したもの。
- ・カラー写真、上半身・正面、無帽、無背景、枠なしであること。
- ・写真サイズは、縦 800px×横 600px 以上（縦横比 4：3）、3MB 以内であること。
- ・ファイル形式は、JPEG であること。（ファイル拡張子は jpg）

② メールアドレスの登録

Web 出願サイト (<https://syutugan.yamanashi.ac.jp>) にアクセスし、「新規利用者登録」からメールアドレスを登録してください。登録後すぐにメールが届きますので、本文の案内に従い 30 分以内に次の手順に進んでください。



③ 利用者情報の登録（いつでも登録できます）

画面の案内に従って個人情報を常用漢字（JIS 第 1 水準・第 2 水準）で登録してください。

出願から入学までの間、本学からの通知を志願者本人が確実に受信できる連絡先（メールアドレス、住所、電話番号等）を登録してください。

出願後に変更が生じた場合は、速やかに教学支援部入試課へ連絡してください。

④ 出願情報の登録（出願期間中のみ登録できます）

Web 出願サイト>マイページ>新規出願から、画面の案内に従い登録してください。

⑤ 入学検定料の支払い

Web 出願サイト>マイページ>検定料の支払いから、画面の案内に従ってお支払いください。

⑥ 出願書類の提出

出願書類を作成・印刷し、教学支援部入試課へ提出してください。提出方法は、募集要項を確認してください。

⑦ 出願の受理

出願書類が受理されたら出願完了です。受験票の発行通知をお待ちください。（出願期間終了日から土・日・祝日を除く3日後までにメールで通知）

* Web 出願に関する問い合わせ先

山梨大学教学支援部入試課（甲府キャンパス）

電話：055-220-8046 E-mail：nyushi@yamanashi.ac.jp

募集要項

1 募集人員

4人（社会人特別選抜を含む。）

2 教育・研究領域

保健学 母性看護学 高齢者看護学 公衆衛生看護学 国際看護学

3 出願資格

次の各号のいずれかに該当する方

- (1) 修士の学位又は学校教育法第104条第1項に規定する専門職大学院の課程を修了した方に授与される文部科学大臣の定める学位（以下「専門職学位」という。）を有する方、又は令和7年3月までに修士の学位又は専門職学位を取得する見込みの方
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された方、又は令和7年3月までに修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与される見込みの方
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された方、又は令和7年3月までに修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与される見込みの方
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された方、又は令和7年3月までに修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与される見込みの方
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学（以下「国際連合大学」という。）の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された方、又は令和7年3月までに修士の学位に相当する学位を授与される見込みの方
- (6) 外国の学校、上記(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する方と同等以上の学力があると認められた方
- (7) 文部科学大臣の指定した方（平成元年文部省告示第118号）（令和7年3月までにこれに該当する見込みの方も含む）
- (8) 本学の大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する方と同等以上の学力があると認めた方で、入学の時点で24歳に達している方

(注) 1 **希望する指導教員と事前打ち合わせを十分に行った上、出願してください。**

なお、希望する指導教員は別表2「授業科目の概要及び担当教員」（12頁）のヒューマンヘルスケア学特別研究に記載されている教員から選択してください。

(注) 2 上記の(7)又は(8)により入学を志願する方は、事前に出願資格の審査を行いますので、出願資格の審査書類を令和6年7月25日(木)16時30分(必着)までに教学支援部入試課（甲府キャンパス）に提出してください。審査に必要な提出書類は、本学ホームページ(<https://www.yamanashi.ac.jp/admission/45>)からダウンロードできます。

なお、(7)又は(8)に係る本学の大学院における認定は、提出書類の審査にて行います。審査の結果は、令和6年8月5日(月)までに本人宛にメールで通知します。

(注) 3 社会人特別選抜への出願は、上記の出願資格のいずれかに該当する方で、看護師・保健師・助産師のいずれかの免許を有し、出願時に3年以上の看護関連業務の実務経験を有する方とします。

4 受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談

対象者：病気・負傷や障がい等のある志願者のうち、受験上及び修学上の配慮を必要とする方

相談方法：教学支援部入試課に連絡の上、令和6年7月25日(木)までに申請に必要な書類を提出してください。

※申請期間を過ぎてからの申し出や申請の内容によっては、学内で検討し、申請をお断りする場合や希望する配慮ができない場合もありますので、ご了承ください。

必要書類：本学ホームページ (<https://www.yamanashi.ac.jp/examination/3794>) を確認してください。

5 出願手続

(1) 出願方法

Web出願サイト (<https://syutugan.yamanashi.ac.jp>) にアクセスし、画面の案内に従って、出願情報等を登録してください。詳細は、本要項の目次の次頁に記載の「Web出願利用ガイド」を確認してください。

(2) 出願期間

令和6年8月6日(火)～8月13日(火) 16時30分まで 【出願期間内必着】

出願期間内に「Web出願情報の登録」、「入学検定料の支払い」、「出願書類の印刷・作成・提出」のすべてを完了してください。いずれか1つでも完了していない場合は、出願を受理することはできません。

(3) 入学検定料の支払い

入学検定料 30,000 円 (別途必要な手数料は志願者負担となります。)

- Web出願サイトの「検定料の支払い」で、①～④から支払方法を選択し、お支払いください。
 - ①クレジットカード、②コンビニエンスストア、③金融機関ATM (Pay-easy)、④ネットバンキング
- クレジットカード以外の支払方法は、入金確認に2時間程度かかります。**(入金を確認されないと次の出願書類印刷に進むことができませんので注意してください。)
- 海外から出願する場合の支払方法はクレジットカードのみです。**
- 出願受理後は、いかなる理由があっても、既納の入学検定料は返還できません。**

【入学検定料の免除】

- 対象者：次の災害に被災された方に対し、入学検定料免除の特別措置を行います。

東日本大震災、平成28年熊本地震、平成30年7月豪雨、平成30年北海道胆振東部地震、令和元年台風第15号及び第19号、令和2年4月以降に発生した災害救助法に適用となる災害

- 必要書類：本学ホームページ(<https://www.yamanashi.ac.jp/examination/3787>)を確認してください。
- 受付期間：出願期間開始日の1ヶ月前～出願期間開始日の前日

(4) 出願書類

- 出願書類には、各自が準備する書類とWeb出願サイトから印刷して提出する書類があります。
- 写し(コピー)の提出を認めた書類を除き、原本を提出してください(海外在住者は除く)。**なお、原本を提出できない場合(出身学校等が卒業証明書や成績証明書等を卒業(修了)時に1度発行するだけで、以降証明書を発行していない場合等)は、出願期間開始日の前日までに教学支援部入試課へ相談してください。
- 出願資格審査が認定された方は、出願資格審査時に提出した書類を再提出する必要はありません。

No	提出書類	一般 選抜	社会人 特別選抜	摘 要
1	修了(見込)証明書等	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 本学の修士課程又は博士前期課程を修了した方は不要です。 出身大学等が作成したものを提出してください。 出願資格の(2)又は(3)により出願する方は、学位授与証明書を提出してください。 出願資格の(7)又は(8)により出願する方は、学部等の卒業証明書を提出してください。
2	成績証明書	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 出身大学等が作成し、厳封したものを提出してください。(海外在住の方が電子ファイルで提出する場合は、厳封する必要はありません。) 出願資格の(1)～(6)により出願する方は、学部及び大学院修士課程又は博士前期課程の成績証明書を提出してください。 出願資格の(7)又は(8)により出願する方は、学部等の成績証明書を提出してください。
3	履歴書	○	○	Web出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷し、提出してください。

4	修士の学位論文 又は研究業績調書等	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・修士の学位を有する方 学位論文の写しを提出してください。 ・修士の学位を有しない方 【研究業績調書(様式1)※】を提出してください。様式は、本学ホームページからダウンロードの上、使用してください。 なお、【研究業績調書(様式1)※】に記載されている内容を証明する書類を添付してください。
5	研究計画書		○	本学ホームページから【研究計画書(様式2)※】をダウンロードの上、作成し提出してください。
6	看護師、保健師及び助産師 の免許証の写し		○	取得しているすべての免許証をA4サイズに縮小コピーし、提出してください。
7	在職期間証明書		○	3年以上の看護関連業務の実務経験について、勤務先が証明したもの(様式は任意)を提出してください。(事前出願資格審査書類である【実務期間及び実務内容証明書(様式6)※】の使用可。) なお、複数の勤務先が該当する場合は、医学域学務課(電話：055-273-9627)へ照会してください。
8	受験承諾書 * 該当する方のみ提出	○	○	出願時に勤務先がある方は、本学ホームページから【受験承諾書(様式3)※】をダウンロードの上、所属機関の長(例えば、病院に勤務の方は病院長)が承諾したものを必ず提出してください。 なお、本書類について不明な点がある場合は、医学域学務課教務グループ(大学院担当)(電話：055-273-9627)へ照会してください。
9	住民票等 * 国籍が日本国以外の方のみ提出	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国内在住の方 住居地の市区町村長が交付する住民票(在留資格及び在留期間が明記されたもの)、又は在留カードの写し(両面)を提出してください。 ・海外在住の方 旅券の写し(顔写真が掲載されているページ)を提出してください。
10	戸籍抄本 * 該当する方のみ提出	○	○	改姓等により、各証明書等の氏名が異なる場合は、提出してください。

※本学所定の様式は、出願期間前から本学ホームページ (<https://www.yamanashi.ac.jp/admission/45>) よりダウンロードできます。

(5) 出願書類等の提出方法

Web出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」にある【出願書類等チェックリスト(提出不要)】で出願書類がすべて揃っているか最終確認してください。

① 日本国内在住の方

Web出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【封筒貼付票】を市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)に貼付の上、出願書類を封入してください。

郵送する場合は、郵便局窓口から簡易書留速達にて、必ず出願期間内に本学へ到着するように郵送してください。

持参する場合は、出願期間中の**9時から16時30分**(正午から13時を除く)の間に教学支援部入試課窓口(甲府キャンパス)に提出してください。(土・日・祝日を除く。)

② 海外在住の方

必ず出願期間内に、必要な提出書類を電子ファイル(PDF)で教学支援部入試課(E-mail: nyushi@yamanashi.ac.jp)へ送信してください。

なお、入学後に出願書類の原本を提出してください。提出方法については、「14 出願書類の原本提出」(5頁)を確認してください。

(6) 出願書類等の提出先・照会先

山梨大学教学支援部入試課(甲府キャンパス)

〒400-8510 山梨県甲府市武田4-4-37

電話：055-220-8046 E-mail: nyushi@yamanashi.ac.jp

【留意事項】

- ① 出願内容（Web 出願情報・出願書類等）に不備がある場合は、受理しないことがあります。
- ② 出願受理後は、いかなる理由があっても、出願内容の変更は認めません。（住所等の連絡先の変更は除く。）また、出願書類の返却もできません。
- ③ 出願内容が事実と相違していた場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- ④ 出願手続等に不明の点がある場合は、教学支援部入試課へ照会してください。

6 受験票

各自で Web 出願サイトから印刷し、試験当日に必ず持参してください。

印刷可能通知：出願期間終了日から土・日・祝日を除く 3 日後までにメールで通知

印刷可能期間：印刷可能通知の受信日から令和 7 年 3 月 31 日

印刷方法：Web 出願サイト>マイページ>受験票 から印刷（A4 サイズの白紙、倍率 100%、カラー印刷）

- ・ 上記期日を過ぎても受験票が印刷できない場合は、教学支援部入試課へ照会してください。
- ・ 受験票には、Web 出願サイトに登録された氏名を使用します。
- ・ 受験票を紛失・汚損等した場合は、Web 出願サイトから再度印刷してください。

7 選抜方法

(1) 選抜方法

- ① 一般選抜 成績証明書、筆記試験（英語、小論文）、口述試験等の結果を総合的に判断して選抜します。
- ② 社会人特別選抜 成績証明書、筆記試験（英語）、研究計画書、口述試験等の結果を総合的に判断して選抜します。

(2) 学力検査等

日 時	試験科目	一般選抜	社会人特別選抜
令和 6 年 9 月 3 日（火）	9 : 00 ~ 10 : 00	○	○
	10 : 15 ~	○	○
	13 : 00 ~ 14 : 00	○	

- (備考) 1. 筆記試験（英語）では、辞書（電子辞書類は除く）の持ち込みを許可します。辞書の種類は問いません。
2. ルーペの持ち込みは禁止します。
3. 口述試験は、志望する教育・研究領域について行います。
4. 筆記試験（英語）に遅刻した場合は、試験開始後 30 分以内に限り、受験を認めます。ただし、試験終了時間は変更しません。

(3) 試験場

医学部キャンパス看護学科教育研究棟（別図参照）

（試験開始 10 分前までに、試験場入口で受付を済ませてください。）

8 合格者の発表

日時：令和 6 年 9 月 10 日（火） 16 時頃

- ・ 本学ホームページ(https://www.yamanashi.ac.jp/examination_list)に合格者の受験番号を掲載しますが、最終的な確認は合格通知書で行ってください。
- ・ 電話等による合否の照会には応じません。
- ・ 合格者発表当日、合格者に合格通知書を発送します。

9 入学手続

- (1) 入学手続の期日は、令和6年10月2日（水）～10月4日（金）です。
- (2) 入学料は、282,000円です。
予定額であり、改定を行う場合があります。また、既納の入学料はいかなる理由があっても返還できません。
- (3) 入学手続関係書類は、合格通知書とともに発送します。

10 授業料

前期分：267,900円 [年額：535,800円]

- ・ 予定額であり、改定を行う場合があります。
- ・ 原則口座引き落としとなります。手続については、別途通知します。

11 その他の経費

学生教育研究災害傷害保険料等の経費が必要です。

12 個人情報の取扱い

「個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人山梨大学の保有する個人情報の保護に関する規則」に基づき、次のとおり取り扱います。

- (1) 選抜実施において取得した個人情報は、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務、④統計調査、⑤志願動向の分析や今後の入学者選抜方法検討や大学教育の改善に関する調査・分析、⑥合格者に対する入学前教育及び入学前イベントを行うために利用します。なお、これらの調査・分析結果を公表する際は、個人が特定されないような形に処理します。
- (2) 入学者については、知り得た個人情報を①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除、奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。
- (3) 上記業務の利用にあたり、一部の業務を本学から当該業務の委託を受けた業者（受託業者）において行うことがあります。この場合、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる範囲で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。
- (4) 個人情報及びプライバシー情報保護のため、本選抜実施において取得した個人情報は、それが記載された書類及びデータ自体のいずれの形においても、厳重に秘匿され、上記の目的以外での利用は行わないことに加え、法令等により開示を求められた場合等を除き、第三者に開示することはありません。

13 入学試験における感染症対応

入学試験当日において、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、麻疹、水痘など）に罹患して治癒していない場合は、他の受験者や監督者等への感染のおそれがあるため受験できません。

なお、受験できない場合の追・再試験や別室受験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いませんので、万全の状態です試験当日を迎えられるよう、体調管理には十分注意してください。

14 出願書類の原本提出

出願資格審査申請書類及び出願書類を電子ファイル(PDF)で提出した方は、入学後に原本を提出してください。なお、PDF書類データに改ざん等の虚偽の内容が発覚した場合、入学許可自体を取り消すことがありますので注意してください。

提出書類：出願資格審査申請書類及び出願書類の原本

提出場所：医学部キャンパス 医学域学務課教務グループ窓口
平日(月～金) 8時30分～17時15分(正午～13時除く)

提出日：本学への登校初日から1週間以内(厳守)

15 安全保障輸出管理

「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人山梨大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生の受け入れに際して厳格な審査を実施しています。規制事項に該当する場合は、希望する教育を受けられない場合や研究ができない場合がありますので、注意してください。

16 その他

Web 出願サイトにおいて、「志願者連絡先」は出願時から入学手続完了時までの間、本学からの照会や通知等を志願者本人が確実に受信できる住所と電話番号及びメールアドレスを登録してください。

なお、出願後、「志願者連絡先」に変更があった場合は、教学支援部入試課へ連絡してください。

入学案内

1 目的

ヒューマンヘルスケア学専攻は、あらゆるライフステージにある人々が、健康で、自律し、自己実現するためのケアについて、新しい理論の構築とそれに基づく看護実践方法を探究します。

そのため、看護学・医学・工学・教育人間科学の融合した教育・研究の機関として、高度な専門職として研究・教育能力の育成と知的資源の提供を行うことを使命とします。

2 専攻の内容

人間を身体・心理・社会的側面から包括的に捉え、看護・保健・医療・福祉に対応したヒューマンヘルスケアとしての研究を推進します。小児・青年・成人・高齢者までのすべてを対象とし、ヒューマンヘルスケアにかなった研究方法を探究するために、医学、工学、教育人間科学の諸学と連携をとりながら、看護実践方法・教育活動・看護政策などの実践理論を導き出すための研究を行います。人々の健康な生活を維持・促進・回復を支援する看護実践方法や教育活動を開発・展開、保健・医療・福祉政策のあり方を探究する教育者・研究者・実践者を育成します。

3 構成

- (1) 修業年限3年を標準とする博士課程です。
- (2) 授業科目及び単位数は、別表1のとおりです。

4 授業科目の概要及び担当教員

別表2のとおり

5 学位

- (1) 学位の名称は、博士(看護学)とします。
- (2) 博士の学位は、大学院に3年以上在学し、16単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査及び最終試験に合格した方に授与します。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた方は、大学院に1年以上在学すれば足りるものとします。

6 履修及び研究方法

<履修基準>

科目区分	必修・選択の別	授業区分	必要単位数
大学院共通科目	必修	講義	1単位
	選択必修	講義	1単位
医学・看護学共通科目	必修	講義	2単位
専門科目	選択必修	講義	2単位
	必修	特別演習	2単位
	必修	特別研究	4単位
専門科目及び関連科目	選択	講義	4単位
合計			16単位以上

(注) 選択必修は研究テーマに関連するものとする。

<研究方法>

特別研究では、指導教員のもとで、ヒューマンヘルスケアとしての看護学の研究課題を探究し、独創的で実践的な成果を生み出すための研究を行います。

7 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例（昼夜開講）

本学博士課程ヒューマンヘルスケア学専攻においては、大学院設置基準第14条に定める「教育方法の特例」を適用し、有職者が離職することなく修学することが可能となるよう、昼夜開講します。

また、夜間等の開講では、月曜日から金曜日までの18時10分から21時20分、土曜日及び夏季・冬季の休業期間中に開講する講義等を履修でき、研究指導も受けられます。

8 長期履修学生制度

この制度は、職業を有していること等の理由により修学時間が制約される方のために、標準修業年限(3年)を超えて一定期間(最長6年)にわたり計画的に教育課程を履修し課程を修了することができる制度です。履修すべき総単位数は、3年で修了するものと同じですから、年間の時間的負担は軽減されることになります。

本制度に関する照会は、医学域学務課教務グループ大学院担当(電話：055-273-9627)までお願いします。

9 入学料及び授業料の免除制度、入学料徴収猶予制度

(1) 入学料免除

次のいずれかに該当する方は、本人の申請に基づき、選考のうえ、入学料の全額又は半額を免除することがあります。

- ① 経済的理由により入学料の納入が著しく困難であり、かつ、学業優秀と認められた方
- ② 入学前1年以内において学資負担者が死亡し、又は入学する方若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、入学料の納入が著しく困難であると認められた方

(2) 入学料徴収猶予

次のいずれかに該当する方は、本人の申請に基づき、選考のうえ、入学料の徴収を猶予することがあります。

- ① 経済的理由により入学料の納入が著しく困難であり、かつ、学業優秀と認められた方
- ② 入学前1年以内において学資負担者が死亡し、又は入学する方若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、入学料の納入が著しく困難であると認められた方

(3) 授業料免除

次のいずれかに該当する方は、本人の申請に基づき、選考のうえ、授業料の全額又は半額を免除することがあります。

- ① 経済的理由により授業料の納入が著しく困難であり、かつ、学業優秀と認められた方
- ② 授業料の納入前6ヶ月以内(入学時にあつては入学前1年以内)において学資負担者が死亡し、又は入学する方若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、授業料の納入が著しく困難であると認められた方

10 奨学金制度

日本学生支援機構の奨学金制度があります。貸与額は、第一種(無利息)は、博士課程(博士後期課程)が月額80,000円、122,000円、第二種(利息付)は、月額50,000円、80,000円、100,000円、130,000円、150,000円より選択になります。(2024年度)

その他の奨学金制度もあります。詳細については医学域学務課学生グループ(電話:055-273-9346)へ照会してください。

また、本学では、経済的負担の軽減を図り、学業を奨励することを目的とする学術研究奨励金制度を実施しています。詳細については、医学域学務課学生グループ(電話:055-273-9346)へ照会してください。

11 学生教育研究災害傷害保険(任意加入)

学生が教育研究活動中及び通学中に受けた災害・傷害に対し、その被害救済を目的とする互助共済制度です。保険料は3年間で4,150円です。

授業科目及び単位数

(参考：2025年度予定)

科目区分	授 業 科 目 名	履修 年次	単位数		担当教員名
			必修	選択	
大学院 共通科目	科学者倫理学	1	1		武井貴弘教授 他
	医工農総合特論	1		○1	武井貴弘教授 他
	研究コミュニケーション・社会展開特論	1		○1	西田継教授 他
	ジョブ型研究インターンシップ	1		2	石平博教授
医学・看護学 共通科目	医療データ解析・臨床疫学特論 I	1	1		横道洋司教授、西郷達彦准教授
	生命倫理学特論	1	1		秋葉峻介講師
専 門 科 目	保健看護学特論	1		1	宮村季浩教授
	基礎看護学特論	1・2		※2	山田章子教授
	臨床看護学特論	1・2		※2	谷口珠実教授、川端愛准教授
	母性看護学特論	1・2		※2	小林康江教授
	小児看護学特論	1・2		※2	開講未定
	高齢者看護学特論	1・2		※2	谷口珠実教授、牧野公美子准教授
	国際保健・看護学特論	1・2		※2	宮本和子教授
	生活健康学特論	1・2		※2	宮村季浩教授
	精神保健看護学特論	1・2		※2	坂井郁恵教授
	公衆衛生看護学特論	1・2		※2	神崎由紀教授
	バリアフリーデザイン学特論	1・2		2	齊藤成彦教授、吉田純司准教授
	ユニバーサルデザイン学特論	1・2		2	井坂健一郎教授
	ヒューマンヘルスケア学特別演習	2・3	2		宮村季浩教授 (保健学) 小林康江教授 (母性看護学) 谷口珠実教授 (高齢者看護学) 神崎由紀教授 (公衆衛生看護学) 宮本和子教授 (国際看護学)
	ヒューマンヘルスケア学特別研究	2・3	4		宮村季浩教授 (保健学) 小林康江教授 (母性看護学) 谷口珠実教授 (高齢者看護学) 神崎由紀教授 (公衆衛生看護学) 宮本和子教授 (国際看護学)
関連科目	国際環境技術特論			2	西田継教授、石平博教授 他
	食品加工・栄養学特論			2	望月和樹教授

- (注) 1 科学者倫理学、医療データ解析・臨床疫学特論 I、生命倫理学特論、ヒューマンヘルスケア学特別演習、ヒューマンヘルスケア学特別研究が必修科目である。
- 2 ○印は選択必修科目で、1単位以上を修得しなければならない。
- 3 ※印は選択必修科目で研究テーマに関連する特論2単位を修得しなければならない。
- 4 特別演習・特別研究は、指導教員が担当する。
- 5 『ジョブ型研究インターンシップ』は修得しても、修了に必要な単位数に含めることは出来ない。
- 6 本募集要項に掲載している授業科目は、変更になる場合がある。

授業科目の概要及び担当教員

(参考：2025年度予定)

授業科目名	授業科目の概要
科学者倫理学	<p>(武井貴弘教授 他)</p> <p>科学の健全な発展に貢献するためには、科学研究のあるべき姿や誠実な科学者として身につけておくべき心得を認識することが大切である。また現代社会では国際的に通用する高い倫理性とリスクに対する適切な対応が求められている。本講義では、責任ある高度専門職業人ならびに科学者として求められる研究倫理を涵養するために技術者・研究者倫理等について講義する。過去に科学者倫理を問われた国内外の事例を紹介するとともに、科学研究を進める上で重要な研究データの適切な取扱い方、科学論文作成上の注意点等の研究不正防止に関わる具体的事項や社会に対する成果発信方法について説明し、これらを通じ研究規範意識を徹底する。本科目は、全学的な体制（理事、副学長が授業を担当）により実施する。</p>
医工農総合特論	<p>(武井貴弘教授 他)</p> <p>大学院医工農学総合教育部においては、「高い倫理観と学際的な知識と国際的視野を持ちながら、深い学識と高度な研究能力を備えた研究者もしくは高度専門職業人の養成」を人材育成目標に掲げている。本講義では、医工農の学際的な知識を身につけるとともに、研究者や高度専門職業人にとって必要な知的財産管理に関する事項を学ぶ。人類にとって普遍的な価値を持つ「食と健康」「生命と環境」「医療と技術」に関する講義を通して、医学、工学、農学の各分野における最先端の研究動向や関連産業の状況を理解する。また、企業における事業戦略や研究開発戦略を意識して、研究・開発した成果を知的財産として適切に管理するための素養を身につける。これにより、多様化する社会の課題に柔軟に対応できる力（社会人力）を涵養する。</p>
研究コミュニケーション・社会展開特論	<p>(西田継教授)</p> <p>社会変革を起こす博士には、自身の研究と社会の結びつきを理解し、社会につながる実行力をもつことが求められる。本科目では、アイデア・計画を可視化する企画力立案、研究成果を社会に広めるコミュニケーション能力、そして社会実装・社会貢献につなげる応用力の習得を目指す。これにより、多様化・複雑化する社会において柔軟に対応できる力を涵養する。</p>
ジョブ型研究インターンシップ	<p>(石平博教授)</p> <p>ジョブ型研究インターンシップ推進協議会が実施する長期間（2ヶ月以上）かつ有給の研究インターンシップに参加することにより、自らの専門性を客観的に観ることで進路の可能性を広げるとともに、今後拡大が見込まれるジョブ型採用を見据え、国際競争に耐え得る研究力に裏打ちされた実践力を養成することを目標としている。</p>
医療データ解析・臨床疫学特論 I	<p>(横道洋司教授、西郷達彦准教授)</p> <p>疫学研究を行うために、研究デザイン、データ収集、統計解析、結果の解釈に関する知識と技術を身に付けることを目的とする。</p>
生命倫理学特論	<p>(秋葉峻介講師)</p> <p>本講義では、生命と倫理をめぐる社会的問題を理解し、自ら論理的・批判的に検討する力の涵養を目的とする。医学・生命科学研究の発展とともに展開してきた「生命倫理学」の議論がどのようなものであるのか概説し、そのうえで個別の問題について講義・ディスカッションを通じて理解を深める。高度で専門的な知識と能力を有する職業人ならびに科学者として適切な理解が必須である国内外の諸議論に関係する法律や倫理について適宜確認し、その理解を深めることを通じて、倫理観及び社会性を涵養する。</p>
保健看護疫学特論	<p>(宮村季浩教授)</p> <p>看護教育の一環として学部学生に対し授業が行われている疫学では、感染症に対する宿主・病因・環境モデルから、慢性疾患に対する危険因子モデルまでが国家試験対策として中心に扱われており、現代のミクロレベルでの分子疫学・ゲノム疫学、マクロレベルでの社会疫学という領域への広がりについて触れられることは少ない。また疫学がこのような対極的な領域へと発展した結果、患者一人一人を生活者として捉えることが難しくなっていることが指摘されており、患者ニーズを第一に考える看護学と疫学が共有する理論を新たに創造し高める機会が突破口になると考えられている。本講義では、疫学的なパラダイムの変化をふまえて、近年提唱されているケアニーズを中心とした看護疫学の概念を理解し、人の健康を生活の視点からどのように捉えていくのか、これからのヘルスケアのあり方について探究していく。</p>

基礎看護学特論	(山田章子教授) さまざまなヘルスレベルにある対象に対して行われる、看護に関する科学的知見を論述する。看護技術や看護実践の根拠とその効果を検証するための多様な技法や評価指標について学び、評価できる能力を培う。もしくは、危機的状態にある患者および家族を理解し、看護実践を行う上で基盤となる概念や理論を探究する。また危機的状態にある患者の生体反応を学び、人としての尊厳を保持し、患者に対する包括的ケアについて考察する。
臨床看護学特論	(谷口珠実教授、川端愛准教授) 医療の現状を国内外の研究から広範にとらえ、臨床実践における身体的、心理社会的、スピリチュアルな課題を多角的に吟味するとともに、対象者の健康の回復、維持、促進に貢献しうる援助を展開する方法を探究する。
精神保健看護学特論	(坂井郁恵教授) 精神疾患患者と家族の歴史の変遷と社会的背景について十分理解した上で、彼らの生き方を支えるための援助を探究する。また、多様な場における精神的問題をもつ人々への援助、健康な人々の精神的健康の維持・増進に寄与する看護実践について考える。
母性看護学特論	(小林康江教授) 社会の変化、とりわけ生活環境が変化している中で、女性の健康、ライフスタイルの獲得、妊娠から産後までの女性やとりまく人々などに関心を持ちながら、社会や家族単位における女性や子ども、その家族の理解と援助に焦点をあてる。また、産科医療や地域母子保健と関連させた、女性の健康と産むこと・育てることへの看護の役割や医療基盤についても考える。
小児看護学特論	(開講未定) 少子化に伴い、小児科における疾病構造の変化および育児力の低下に伴う育児支援が課題となっている。疾患や障害の有無に関わらず、子どもおよび家族を子どもの発達過程を踏まえつつ長期的かつ地域社会的に支援する方法を探究する。また、小児看護実践に関する最近の課題を明らかにし、小児医療・地域母子保健における看護の役割と連携について方法論を探究する。
高齢者看護学特論	(谷口珠実教授、牧野公美子准教授) ヒューマンヘルスケアの視点から、多様な障害をもつ高齢者の生活の質を向上させる諸問題と課題の分析、生活の自立のための援助方法を探究する。福祉・教育などの諸学の研究成果を活用し、高齢者とその家族の健康を維持・促進させるための看護介入、高齢者に対するヘルスケアの専門職としての役割・機能、およびその看護実践・看護介入評価などの研究方法について論述する。
国際保健・看護学特論	(宮本和子教授) 主として発展途上国の健康課題を対象とし、その解決のために看護が果たす役割と課題を検証する。世界情勢は複雑であり、人々の暮らしと健康を守るためには、保健医療のみでなく様々な分野からの取り組みが必要である。その中で看護はどのように貢献できるのかを様々な角度から考察していく。
生活健康学特論	(宮村季浩教授) 少子・高齢化に伴うあらゆるライフステージの人々の抱える健康問題に着目し、人々が各ライフステージに応じた自己管理行動がとれるような保健教育活動の開発・展開について論述する。
公衆衛生看護学特論	(神崎由紀教授) 地域で生活している様々な年代・健康状態にある人々が、主体的に健康や生活の質を維持・向上していけることを目指し、対象者の生活を継続的・包括的にとらえた支援について探究する。また、必要な社会資源の開発や組織育成など、地域ケアシステムの向上に寄与するための看護職の役割や機能について考究する。
バリアフリーデザイン学特論	(齊藤成彦教授、吉田純司准教授) 主に高齢者や身体障害者にとってやさしい道路や公共・社会福祉施設など、バリアフリーを重視したインフラの設計・施工・維持・管理に対する研究的取り組みについて詳述する。
ユニバーサルデザイン学特論	(井坂健一郎教授) 人間の健康にとって、環境特に視覚面から与える影響は大きい。人間の健康生活と色彩・自然・造形などが心理面・健康面へ与える影響・効果について論述する。

<p>ヒューマンヘルスケア学特別演習</p>	<p>(保健学：宮村季浩教授) (母性看護学：小林康江教授) (高齢者看護学：谷口珠実教授) (公衆衛生看護学：神崎由紀教授) (国際看護学：宮本和子教授)</p> <p>ヒューマンヘルスケア学は、豊かな社会にあるあらゆるライフステージの人々が、健康で、自律し、自己実現するために、新しい理論の構築とそれに基づく看護実践方法を開発する。その方策として、倫理的な判断に基づいて、看護の観点から現状を批判する。本演習は、あらゆるライフステージにある人間をホリスティックに捉え、看護を基盤とし、医療・保健・福祉・教育の諸学の成果を活用して、ヒューマンヘルスケアとしての看護実践のあり方、看護職の育成、看護政策、他職種と連携・協働の課題を明らかにする。そのために、医学・工学・教育人間科学領域と連携して、諸学の研究方法を批判的に吟味し、ヒューマンヘルスケアとしての看護の特徴に対応した研究方法を検討するための演習を行う。</p>
<p>ヒューマンヘルスケア学特別研究</p>	<p>(保健学：宮村季浩教授) (母性看護学：小林康江教授) (高齢者看護学：谷口珠実教授) (公衆衛生看護学：神崎由紀教授) (国際看護学：宮本和子教授)</p> <p>あらゆるライフステージにある人々が、健康で、自律し、自己実現に向かうための、ヒューマンヘルスケアとしての看護実践理論を導くための研究を行う。そのために、人間の特徴をホリスティックに捉え、看護・医療・保健・福祉・教育の諸学を基盤とし融合しつつ、個の尊重と倫理的判断に基づいた、ヒューマンヘルスケアにふさわしい研究方法を開発する。人間の健康維持・増進、また生活支援に関する諸問題について多角的に分析し、看護学のみならず、医学・工学・教育人間科学領域と連携して、ヒューマンヘルスケアの視点から問題を見出す。ヒューマンヘルスケアとしての看護学の研究課題を探究し、独創的で実践的な成果を生み出すための研究を行う。</p>

山梨大学甲府キャンパス周辺図

University of Yamanashi, Kofu Campus Location Map

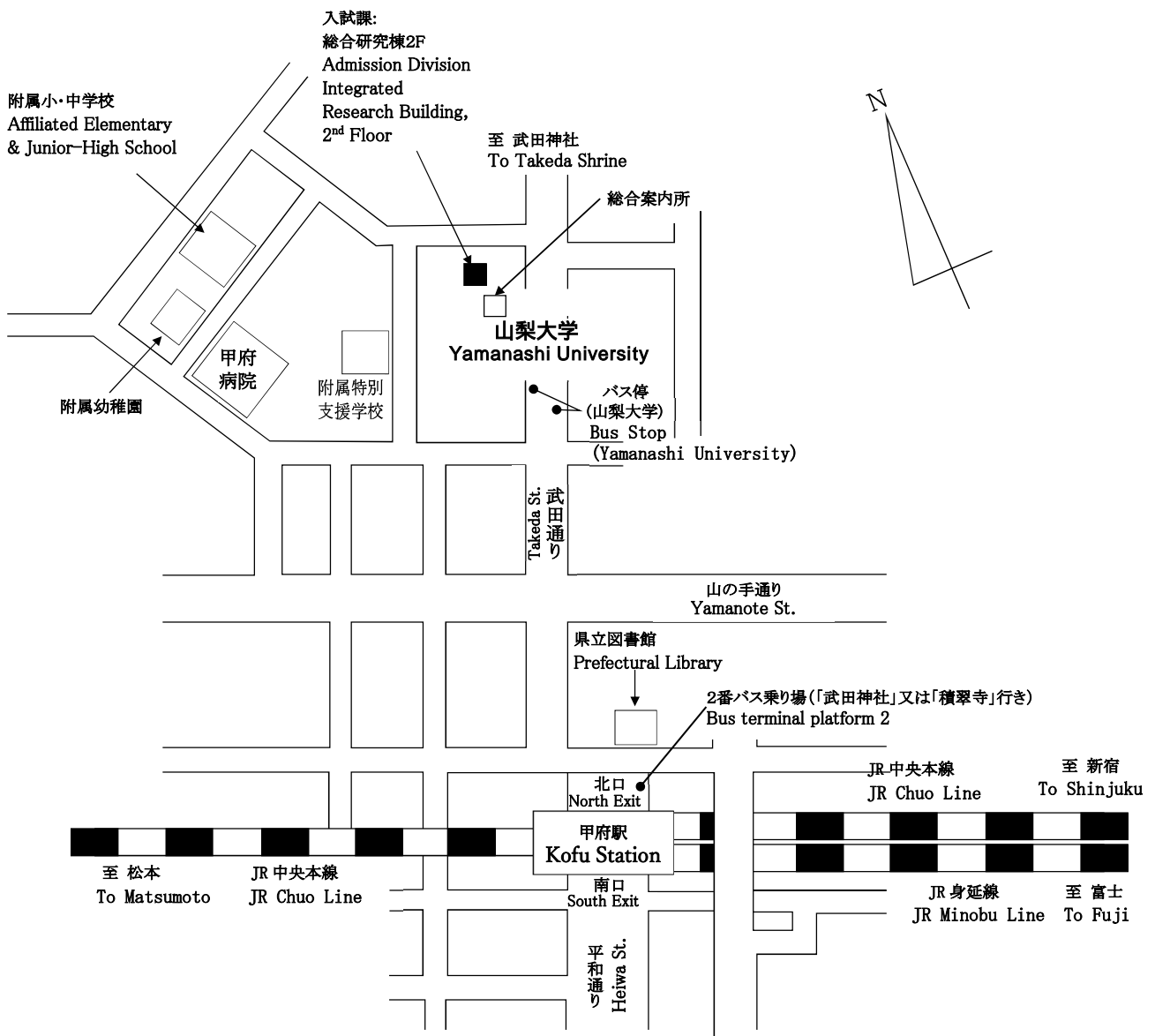
甲府駅下車、北口から徒歩約15分

甲府駅下車、北口からバス(「武田神社」又は「積翠寺」行き)で約5分「山梨大学」下車

Take the JR train to Kofu Station and follow the signs to the North Exit.

The campus is about a 15 minutes walk from Kofu Station.

Take the JR train to Kofu Station. From the bus terminal at the North Exit, take a bus at platform 2 bound either for “Takeda-jinja Shrine,” or “Sekisuiji Temple”. After about 5 minutes, get off at the Yamanashi University Bus Stop.



構内には駐車場がありませんので、電車、バス等の公共交通機関を利用してください。
As there is no parking area available on the campus property, please use public transportation.

本学所定の様式

受験番号	※
------	---

研 究 業 績 調 書

氏 名				備考	※
著書、学術論文、学会発表、 その他	発行、発表の 年月	出版社、掲載雑誌、 発表学会等の名称	概 要 (業績について簡潔に記入してください。)		

注1：記載内容を証明する書類（学術論文等の別刷、出版物、学会のプログラム等(コピー可)）を必ず添付してください。

注2：※印欄は記入しないでください。

記入例

受験番号	※
------	---

研究業績調書

氏名			備考	※
著書、学術論文、学会発表、その他	発行、発表の年月	出版社、掲載雑誌、発表学会等の名称	概要 (業績について簡潔に記入してください。)	
1. 著書 ○○○○○○	2020年4月	○○出版社		
2. 学術論文 ○○○○○○ (受験者氏名、共著者氏名)	2019年11月	○○学会誌 (Vol. No)		
3. 学会発表 ○○○○○○	2018年12月	○○学会		
4. その他				

注1：記載内容を証明する書類（学術論文等の別刷、出版物、学会のプログラム等(コピー可)）を必ず添付してください。

注2：※印欄は記入しないでください。

受験番号	※
------	---

研究計画書

氏名		備考	※
----	--	----	---

(日本語の場合は1,000字以内で、英語の場合は500words以内で記載してください。)

--

注：※印欄は記入しないでください。

受験番号	※
------	---

受験承諾書

山梨大学長 殿

このたび、入学志願者_____が貴大学院医工農学総合
教育部博士課程ヒューマンヘルスケア学専攻を受験することを承諾します。

年 月 日

機関名・職名：

氏 名： ⑩

注1：出願時に勤務先がある方は、所属機関の長（例えば、病院に勤務の方は病院長）が承諾したものを必ず提出してください。なお、本書類について不明な点がある場合は、医学域学務課教務グループ大学院担当（電話：055-273-9627）へ照会してください。

注2：※印欄は記入しないでください。

受験番号	※
------	---

本募集要項 1 頁の「3 出願資格」の(7)又は(8)により入学を志願する方のみ、事前に出願資格の審査を行いますので、下記の書類を提出してください。

大学院入試出願資格審査提出書類チェックシート（要提出）

ふり 氏	がな 名	
---------	---------	--

事前の資格審査に必要な提出書類		部数	チェック欄
1	入学試験出願資格審査願（様式 5）	1 部	<input type="checkbox"/>
2	最終学歴の卒業(修了)証明書（見込みも含む）	1 部	<input type="checkbox"/>
3	最終学歴の成績証明書	1 部	<input type="checkbox"/>
4	提出書類チェックシート（本書類）	1 部	<input type="checkbox"/>
該当者のみが提出する書類			
5	実務期間及び実務内容証明書（様式 6） ・職歴のある方は、勤務先の所属機関の長（例えば、病院に勤務の方は病院長）が証明したものを提出してください。	1 部	<input type="checkbox"/>
6	研究業績調書（様式 1） ・研究業績がある方は提出してください。	1 部	<input type="checkbox"/>
7	研究業績調書に記入した内容を証明する書類 （学術論文等の別刷、出版物、学会のプログラム等(コピー可)）	各 1 部	<input type="checkbox"/>
8	戸籍抄本 ・改姓等により各証明書等の氏名が異なる場合は、提出してください。	1 部	<input type="checkbox"/>
9	住民票等 *国籍が日本国以外の方 ・日本国内在住の方 住居地の市区町村長が交付する住民票（在留資格及び在留期間が明記されたもの）、又は在留資格カードの写し(両面)を提出してください。 ・海外在住の方 旅券の写し(顔写真が掲載されているページ)を提出してください。	1 部	<input type="checkbox"/>

注：※印欄は記入しないでください。

受験番号	記入しないでください
------	------------

山梨大学大学院医工農学総合教育部博士課程ヒューマンヘルスケア学専攻
入学試験出願資格審査願

ふりがな 氏名		生年月日	年 月 日
選抜区分	一般選抜		社会人特別選抜
希望する 指導教員		志望する 教育・研究領域	
学 歴 (高等学校以降の すべての学歴を 記入)	年 月 日 ~	年 月 日	
	年 月 日 ~	年 月 日	
	年 月 日 ~	年 月 日	
	年 月 日 ~	年 月 日	
職 歴	年 月 日 ~	年 月 日	
	年 月 日 ~	年 月 日	
	年 月 日 ~	年 月 日	
	年 月 日 ~	年 月 日	
研究業績等 (学位取得を希望 する動機となっ た研究業績等を 記入)			
免許・資格			
連絡先	(〒 -) 電話： - - E-mail :		

1. 選抜区分欄：志望する選抜区分を○で囲んでください。
2. 希望する指導教員欄：事前打ち合わせを十分行った上、記入してください。
3. 学歴欄：高等学校以降のすべての学歴を記入してください。(大学等で研究生等として在学歴がある場合も記入してください。)
4. 職歴欄：職歴のある方は、「実務期間及び実務内容証明書(様式6)」を添付してください。
5. 研究業績等欄：研究業績のある方は記入してください。なお、記入欄が足りない場合は、別用紙を使用してください。
また、「研究業績調書(様式1)」及びその記載内容を証明する書類(学術論文等の別刷、出版物、学会のプログラム・抄録等(コピー可))を必ず添付してください。
6. 連絡先欄：出願資格審査結果を確実に受信できるメールアドレスを記入してください。
7. 最終学歴の卒業(修了)証明書(見込みも含む)及び成績証明書を添付してください。

受験番号	※
------	---

実務期間及び実務内容証明書

氏 名 _____

生年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

職 名	
在職期間	年 月 日 ~ 年 月 日
職務内容 (詳細に記入願います)	
機関名・職名	
氏 名 _____ 印	

注1：勤務先の所属機関の長（例えば、病院に勤務の方は病院長）が証明したものを提出してください。

注2：※印欄は記入しないでください。